

「愛知県中学校総合体育大会柔道競技外部指導者（コーチ）細則」

Ver. 2

(1) 柔道競技における外部指導者（コーチ）について

- ①当該校長が認めた成人であり、日頃から指導に当たっている者
  - ②年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者
  - ②年間を通じ、日頃から道場にて指導している者
  - ②全日本柔道連盟の指導者登録をしている者
  - ③中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者
  - ④中学校の教職員でない者でもよい。
- } いずれかにあてはまる者

※ コーチ（外部指導者）確認書の[学校とのかかわり]の欄には週当たりの指導回数および指導場所・指導内容等を具体的に記入すること

上記の者を、外部指導者（コーチ）として認める。なお、1つの学校に対して複数の道場・クラブがまたがる場合でも、1校1名の外部指導者（コーチ）しか認められない。但し、同一校で男女とも出場権を得ている場合には、男女それぞれに1名おくことができる。また、同一人物が複数校のコーチにはなれない。

(2) 外部指導者（コーチ）には、以下の項目を遵守することを条件に大会本部からIDカードを発行します。

- ①会場内においては、常時IDカードを首にかけ、競技役員が確認しやすい状態にすること。
- ②学校教育の一環として開催される本大会の趣旨を理解し、教育的な言動をすること。
- ③服装は審判員に準じ、整ったものであること。

(3) 上記事項に従わない場合や、外部指導者（コーチ）確認書（校長承諾書）に虚偽の記載が発覚した場合、本大会への参加資格は失効するとともに退場を命じます。